

2014年1月6日

愛知製鋼株式会社

2014年新年年頭あいさつ

愛知製鋼株式会社（本社：愛知県東海市、社長：藤岡高広）は、2014年1月6日（月）、当社体育館（愛知製鋼企業年金基金体育館「アスカム」）において、「新年年頭あいさつ」を行った。

＜藤岡社長あいさつ要旨＞

皆さん、新年明けましておめでとうございます。今年は午年です。さっそうと駆ける馬の姿は勇ましく、大きな飛躍を期待させます。

【当社を取り巻く環境】

今年の当社を取り巻く環境はたいへん厳しいものがある。まずは自動車業界について、電気自動車化、ハイブリッド化などにより特殊鋼の原単位は下がっていく中、現調化はますます進んでいる。激しいグローバル競争の中、価格に対する要求もどんどん厳しくなっていくことが予想される。

社会情勢を見ると、エネルギーコストや原材料価格の変動、急激な為替変動等が継続している。輸出型企業に高収益をもたらした円安も、我々の13年度上期の収益に大きなマイナス影響を及ぼした。円安の傾向は、この先、数年は続くことも予想され、決して楽観できない状況であり、さらに今年4月からの電力料金値上げも大きな影響になる見込みである。このように、いろいろと不透明で、不安定な要素が多く、昨年以上に厳しい状況が継続していきそうな見通しである。

【I Will ～自変元正～】

私は昨年、皆さんの一人ひとりが「危機感」と「スピード感」を持って、「I will 自変元正」の当事者意識で、自ら変わるにより、「適者生存」で生き残ろう、という話をした。今年はそれを踏まえた上で、さらにもうひとつ、これから仕事をしていく上で全員が認識すべき大事なことがある、と感じている。それは「原点回帰」であり「らしさ」の追求である。

【「原点回帰」で「らしさ」を追求】

「原点回帰」といっても、ただ単純にもとの状態に戻る「リセット」ではなく、「Return to the basic with innovative manner」である。

この「with innovative manner」「革新的なアイデアを持って」という部分、言い換えれば、創意工夫とデータに基づいたアイデアで、検討に検討を重ねることが大切である。「原点回帰」することにより、生まれ持ったDNAを見つめ直し、そしてそれを活かしつつ、今までとは違う発想で、より挑戦的に新しい価値の創造に取組み、という姿勢が大事なのである。

【愛知製鋼らしさのDNA（豊田喜一郎氏のことば）】

我々の回帰すべき原点は、「素材にこだわり、素材メーカーとしての地位を極めると共に、素材の良さを最大限に生かして、特条、鍛造、ステンレス、電磁品の、全ての事業で社会に貢献する」ということである。

創業者である豊田喜一郎氏によると「日本には鉱石はないが、製鋼技術の完成によって、資源的不利を克服して行かねばならぬ」そして、「よきクルマはよきハガネから」この言葉が示すDNAの原点があったからこそ、ここまで事業を拡大成長することができたのである。

【実践のためのキーワード「Return to the basic with innovative manner」】

1. 生産や業務の基盤となる職場のルールがしっかりあるか
2. その上で、意識、知識、技能、技術を持ったメンバーで職場運営が出来ているか
3. 結果が見えるようになっており、O-CA/PDが実践され、強い職場になっているか
4. 更に効率的に「ものづくり」、職場運営ができるように、「with innovative manner」でリエンジや、職場の改革が計画的に実践されているか

各事業における「Return to the basic with innovative manner」を全員が認識して、常にお客様目線での全員営業感覚で、お客様との良好関係を維持しながら、会社の発展のために尽力していただくようお願いしたい。

【全員が共有すべき価値 1S文化、Do it now 時今元正】

愛知製鋼グループの社員として、共有すべき基本的価値観は変わらず、一番の基礎は1Sの精神である。「正直」「安全」「清掃」を第一（最優先）に考える、1S文化の大切さ、この年始にもう一度、心に深く刻みこんでほしい。そして今日、今年新たに全員で共有してもらいたいキーワードがある。

「Do it now! 時今元正」をあげたいと思う。つまり「今、やろう!」「今、行動を起こそう!」ということである。危機感と当事者意識を持って、「よく“考”えて行“動”する」という「考動」を実践してほしい。円安、それに伴う購入材料の高騰、エネルギー高は今年も変わらず、むしろ、更に厳しくなっていくことが予想され、そのような中で、足元の改善、これからのリエンジを自らの強い意志で成し遂げていくことが一番大切である。「愛知製鋼らしさ」にこだわり、「I will」自変元正の強い意志でやりぬいていきたい。

以上